

学校創立から〇〇周年

日野市立小・中学校、幼稚園では創立から10年ごとに記念行事を実施しています。記念行事を通して、学校の創立に関わった方の思いや学校の歩みを振り返り、知ること、ふるさと日野を、そして自分の通った学校を、もっと好きになってほしいと願っています。

創立70周年

日野第三小学校



現在の日野第三小学校の校舎

本校は、昭和23年4月、日野小学校（現日野第一小学校）の日野台分校として開校しました。夏の暑い中、子供たちが鼻緒の切れた下駄をぶら下げて、日野坂を登下校する姿を見た地域の方の、「もっと近くに学校を」という熱意が実っての開校でした。校舎は、高射砲陣地の兵舎を転用したもので、教室不足のため、二部授業だったそうです。

その後、昭和25年、日野町立日野台小学校として独立。昭和30年には、現在の日野第三小学校となりました。



昭和25年、日野町立日野台小学校時代の校舎

校歌の「サイレンひびく 丘の上」は、日野自動車や神戸製鋼所、コニカなど、大工場のある当時の風景を思い浮かべさせます。70年間に輩出した卒業生は6,836名にもなります。

これまでの日野第三小学校70年間の歴史を子供たちと学び、日野第三小学校の伝統を受け継ぎながら、夢と希望、笑顔あふれる新たな歴史の一步を踏み出す1年にしたいと思います。

今後も「地域にねざした学校」として、地域・保護者の方々と連携し、人間性豊かな児童を育む教育活動を進めてまいります。

創立50周年

日野第三中学校



開校50周年を記念して航空写真を撮影しました。

今年度、日野第三中学校は開校50周年を迎えることができました。

昭和45年4月1日に七生中学校日野第三中分校として産声を上げ、同年10月1日に七生中学校内で日野市立日野第三中学校が開校しました。翌年、4月1日には現在の地、程久保650番地の新校舎に移転し、6日に始業式、7日に第1回入学式を挙行了しました。第1回新入生の中には、誰もがご存知で現在大活躍の吉田鋼太郎さんもいらっしゃいました。

三中の卒業生は10,000人近くになり、二代にわたり三中出身の方も多く、三中の教育活動にご尽力いただいております。



開校式の写真、お話をされているのは初代橋本校長先生です。

現在、魅力ある学校づくりに取り組み、生徒の良さを最大限に発揮できる学校の実現を目指しています。今後とも、地域、保護者の皆様のご協力の下、生徒自らがのびのびと過ごせる学び舎を作り上げていきたいと思っています。

創立40周年

大坂上中学校



令和2年度、第40回入学式

昭和55年4月1日、日野の大地「大坂上」に、日野第一中学校と日野第二中学校を母体校として、大坂上中学校が開校しました。地域からの熱い期待と願いの中、全校生徒数736名での船出となりました。開校時、体育館が未完成のため、入学式を校庭で行ったということです。最初の入学式は自分たちの学校から踏み出そう、と考えた当時の先生方の思いが偲ばれます。

そして、日野第一中学校と日野第二中学校から集まった生徒と教職員が一緒になって、新しい学校の目標を定め、新たな伝統の創造が始まりました。

教育目標の前文に記されている「広い視野に立ち、進んで自己を開拓し向上し続ける人になろう」に込められた思いは、40年を経た今でも、その精神が脈々と受けつがれていると感じています。

「未来を逞しく生きる生徒」を育成するため、教職員一丸となって、教育活動を充実させてまいります。そして、卒業生や保護者、地域の皆様など、大坂上中学校に関わってくださったすべての方々の思いに応えてまいります。



昭和55年度、第1回入学式

小学校の窓

日野市内には17校の小学校があります。各小学校は、4つの中学校ブロックに分かれ、お住いの地域のブロックの中から小学校を選ぶことができます。ブロックの境の地域にお住いの場合は、隣接する他のブロック内の学校から、お住いに近い学校を選ぶこともできます。

ひのっ子きょういくでは、前号と本号に分けて、市内小学校の紹介をしていきます。
問 学校課 (☎514-8719)



いのち輝く学校に

仲田小学校 校長 沼田 忠晶



仲田小学校
☎はこちら



仲田小学校は、広々とした多摩川の清流と仲田の森蚕糸公園に隣接する、自然豊かな環境にあります。この地には、昔桑園があったことを大切にし「蚕の飼育」に取り組んでいます。今年度はさらに「桑の木の枝」を使った「紙漉き体験」をしました。

子供たちは、様々な生き物と親しみながら、「いのち」を大切にする子供たちに育っています。皆で知恵とアイデアを結集させて、「いのち」輝く学校を目指しています。

自他を大切に、よりよい学校を目指す

東光寺小学校 校長 高橋 大造



東光寺小学校
☎はこちら



特別活動の研究を通して、教員が変わり、児童が変わり、学校が変わりつつあります。学級活動や児童会活動で、児童は自分の力を発揮し、友達のよさを認め合い、よりよい人間関係を築いています。

保護者や地域の方と協力して手入れを行う色鮮やかな芝生や、季節の美しい花々などが自慢です。

東光寺地区の伝統ある「東光寺大根」の栽培、漬物作りなど、体験を通した食育も本校の特色ある教育です。東光寺小学校の未来にご期待ください。



繋がる学び

潤徳小学校 統括校長 竹山 弘志



潤徳小学校
☎はこちら



本校は、開校147周年の歴史ある学校です。教育目標には「敬愛・自由・勤労」を掲げています。地域には、浅川、向島用水、緑地、水田、商店街、高幡不動尊、駅舎などがあり、自然や歴史などを体験的に学べる環境と機会に恵まれています。そのため、地域をステージとして、地域の方々と関わりながら、地域と繋がって学ぶことができます。いじめがなく、全ての子供が楽しく活動しながら、一人一人がよりよく成長できる学校を目指しています。

まいにち笑顔

日野第七小学校 校長 小林 光市



日野第七小学校
☎はこちら



学校は、子供たち一人一人の「いのち」を預かり、「いのち」を育てるところです。その一つ一つの「いのち」がより輝くよう、私達教職員そして、保護者や地域が一体となって教育活動を進めています。

本校のキャッチフレーズは、「まいにち笑顔」です。元気な挨拶が響き合い、互いを思いやって笑顔があふれる学校をめざしています。

「自分から考え動く、みんなで対話をしながらつくりあげる、学び合いわくわくが広がる学校」日野七小をこれからもよろしくお願いします。



もみじと校舎

古きを尋ね、 新しきを知る(温故知新)

日野第一小学校 校長 石田 恒久



日野第一小学校
☎はこちら



明治6年5月5日、現在の中央公民館隣に、「日野学校」として、開校してから147年。現在地に移転してから72年。地域や多くの保護者に支えられて現在に至っています。

古き「歴史ある地域」はもちろん「日野用水」「新選組」を学びの材として、大人も子供も「わくわくの学び合い 育ち合い」を目指して、新しき「多種多様な学びのある指導」に取り組んでいます。



児童の願いを 実現する

日野第四小学校 校長 小林 洋之



日野第四小学校
☎はこちら



開校147周年を迎えた日野第四小学校は、704人の児童が在籍しています。「気付き、考え、行動する子供」を育てるため、互いに支え合い、認め合い、自分の成長に自信がもてる学校を目指し、特別活動(学級会)の研究を進めています。保護者・地域住民の皆様は助けていただきながら、健康で安全な学びの環境を整えるとともに、児童の「やってみたい」「知りたい」「伝えたい」という願いを引き出し、実現できるよう努めています。



持続可能な社会を 担う児童の育成

日野第八小学校 校長 松永 式子



日野第八小学校
☎はこちら



日野第八小学校では「持続可能な社会を担う児童の育成」を基に、教育活動に取り組んでいます。コロナ禍のため、教育活動にも様々な制約・制限があるなか「とりあえず今を何とかしよう」ではなく「将来にわたって良くなるために自分の生き方や考え方を変えていく」ことがこれからの社会を担う児童に必要な力です。第3次日野市学校教育基本構想の「すべてのいのちがよこびあふれる未来をつくっていく力」という理念、「誰一人取り残さない」というSDGsの、この2つの理念を、子供たちにしっかり伝える教育を行います。

「共に生きる」ことを 学ぶ

七生緑小学校 校長 大和田 邦彦



七生緑小学校
☎はこちら



七生緑小学校は、日野市を展望する緑豊かな七生丘陵に立っています。子供たちは、自然豊かな場所で、地域の人々の温かな励ましやご協力を得て活動の場を広げ、伸び伸びと学んでいます。学校や地域の中で、いろいろな世代の人々とかかわりながらやさしさを学び、視野を広げて学びを活用し、どんな困難もしなやかに乗り越えるたくましさをも身に付けられるよう教育を進めます。他者を認め、自分を大切にして、共に生きることを考え、行動できるよう「対話」も深めています。

笑顔いっぱい 夢いっぱい わくわく夢が丘小

夢が丘小学校 校長 山本 剛秀



夢が丘小学校
☎はこちら



夢が丘小学校は、多摩動物公園に近く、自然環境豊かな学校です。4年連続で、オリンピック・パラリンピック教育アワード校として東京都教育委員会より顕彰を受けました。

また、地域に住んでいる様々な人たちと出会い、交流し、地域と共に教育活動を展開しています。今年度の活動の一つとして、地域の坂道を「夢見坂」と名付け、坂道に動物の足跡のペイントをしました。保護者や地域の方々と共に、「笑顔いっぱい 夢いっぱい わくわく夢が丘小」を目指していきます。



東光寺小学校

災害時、地域を支える
6年生の育成を目指して



災害時の避難生活を想定して、11月27日・28日、学校で『防災キャンプ』を行いました。昇降口で検温後、各教室へ5名前後に分かれ、十分な間隔と換気を心掛け、段ボールや毛布で寝床を作りました。心肺蘇生とAED訓練では、命を救うために真剣な眼差し。校庭では薪で火を起こして班ごとにカレー作り。夜のレクリエーションでは笑顔満開。自分たちの知恵と力を合わせて作り出す楽しさと、感染や災害から命を守る責任と共助の大切さを学びました。

日野第八小学校

ごみゼロ最優秀賞！



4年 四之宮 里枝

絵を描くことが大好きな四之宮里枝さんは、学校で学んだSDGsの「飢餓をゼロに」に関心を持ち、身近な「食べ残しを減らそう」というテーマで、野菜達を「残さず食べよう」と訴えかける素敵なポスターを描き、見事《最優秀賞》に選ばれました。

日野第一中学校

女子リレー・都で優勝！



10月24日・25日に駒沢競技場で実施された「第73回東京都中学校陸上競技大会」において、2年女子4×100mリレーにおいて決勝1位となり、2年連続東京都チャンピオンになりました。来年度、関東・全国大会への進出が期待されます。

大坂上中学校

夢への挑戦！



大坂上中学校野球部は、9月26日に行われた地区秋季大会決勝で勝利し5連覇を達成。10月24日都大会では、日大豊山に3-2で勝利。翌日の練馬中学校に逆転負けしましたが、ベスト16進出を果たしました。



9月19日に行われた、日野市中学校陸上競技大会で、昨年に引き続き総合優勝し2連覇を達成。18名の選手が日野市代表として、10月の東京都支部対抗大会に出場。1年女子100mでは、5位に入賞しました。

ひのっ子ががんばってます



図書館

中学生と作家の交流事業2020

「言語を超えて旅してみよう～金原瑞人さん講演会～」を開催しました

11月1日、翻訳家・金原瑞人さんの講演会を多摩平の森ふれあい館にて開催しました。この講演会は、日野市内各中学校の代表生徒19名が企画運営しました。

金原瑞人さんの講演・中学生によるクイズコーナー

翻訳するのが一番難しい英単語、日本語と英語の違いなど、翻訳に関する様々なお話をしてくださいました。参加者とのやりとりも交えながらの楽しい時間となりました。



中学生との交流会

講演会終了後、金原さんを囲んで交流会を行いました。中学生から翻訳や本に関する質問が挙がりました。金原さんから中学生への質問もあり、和やかな1時間となりました。

～今回の企画について～

参加した生徒からは、「とても楽しかった」「金原さんと話せて貴重な体験だった」等の感想がありました。様々な新型コロナウイルス対策をした上での開催となりましたが、本の向こうの存在であった方に直接会い言葉を交わすという経験は、胸に残るものになったのではないかと思います。



学びのチャンスいろいろ



第14回

ひのっ子シェフコンテストを開催しました



書類審査で選ばれた5グループが11月22日、ひのっ子シェフコンテスト本選に挑みました。栄養士と給食調理員により選ばれた特別賞「彩り野菜のかぼちゃの濃厚クリームパスタ」は、今後、市内小中学校の学校給食として全校で提供される予定です。



コロナ禍の情報発信

郷土資料館は、HPで東京オリンピックのレガシー（オリンピック植樹記念碑について）や「戦争体験を語り継ぐ」の動画を配信しています。また、特別展「みんなのひの宝モノ語り展」展示室（3月28日まで開催）では、スマートフォンで解説を聞くことができます。

ICTツールと知恵を使い、心配される接触を避けながら、子どもたちにふるさと日野を伝える取り組みを行っています。

中央公民館

郷土資料館